

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|---------------|--|
| 商品分類 | 単位型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 設定日(2008年4月24日)から2018年4月10日まで |
| 運用方針 | <p>投資信託証券への投資を通じて、収益性、安定性などを総合的に勘案して選別した人民元建ての債券に投資します。</p> <p>当ファンドの主要投資対象である「BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB(円建て)」の人民元建ての債券の運用にあたってはHFT Investment Management Company Limitedからの助言を受けます。</p> <p>なお、資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p> |
| 主要運用対象 | 外国投資信託「BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB(円建て)」を主要投資対象とし、外国投資信託を可能な限り高位に組み入れます。 |
| 組入制限 | <p>①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産(外貨建資産を組み入れ可能な投資信託証券を除きます。)への投資は行いません。</p> <p>③株式への直接投資は行いません。</p> |
| 分配方針 | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子、配当収益のいずれか多い金額とします。</p> <p>②収益分配金額は、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> |

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

運用報告書(全体版)

償還

第10期(償還日 2018年4月10日)

中国人民元建て短期債券投信

単位型投信／海外／債券

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

中国人民元建て短期債券投信は、2018年4月10日をもちまして償還いたしました。

ここに、謹んで運用状況と償還金をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ窓口

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

電話番号：0120-996-222

受付時間：毎営業日 午前10時～午後5時

<http://www.bnpparibas-am.jp/>

BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウノースター

※2017年12月1日付で、「BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社」から社名を変更いたしました。

■設定以来の運用実績

| 決 算 期 | (分配落) | 基 準 価 額 | | | 受 益 回 利 | 投 資 信 託 証 券 組 入 比 率 | 元 残 存 率 |
|----------------------------|--------------------|-------------|-----------|-----------|---------|---------------------|---------|
| | | 税 込 み 分 配 金 | 期 中 騰 落 額 | 期 中 騰 落 率 | | | |
| (設 定 日) 2008年4月24日 | 円 10,000 | 円 - | 円 - | % - | % - | % 100.0 | |
| 1期(2009年4月10日) | 9,612 | 0 | △ 388 | △ 3.9 | △4.0 | 99.7 | |
| 2期(2010年4月12日) | 8,872 | 0 | △ 740 | △ 7.7 | △5.7 | 98.8 | |
| 3期(2011年4月11日) | 8,347 | 0 | △ 525 | △ 5.9 | △5.6 | 98.5 | |
| 4期(2012年4月10日) | 8,389 | 0 | 42 | 0.5 | △4.1 | 98.2 | |
| 5期(2013年4月10日) | 10,163 | 0 | 1,774 | 21.1 | 0.3 | 98.0 | |
| 6期(2014年4月10日) | 10,231 | 200 | 268 | 2.6 | 0.7 | 97.7 | |
| 7期(2015年4月10日) | 11,496 | 500 | 1,765 | 17.3 | 3.2 | 98.4 | |
| 8期(2016年4月11日) | 9,975 | 0 | △1,521 | △13.2 | 0.8 | 98.7 | |
| 9期(2017年4月10日) | 9,405 | 0 | △ 570 | △ 5.7 | 0.1 | 99.8 | |
| (償 還 時) 10期(2018年4月10日) | (償還価額) 9,699.89 | | 294.89 | 3.1 | 0.4 | — | |

(注1) 基準価額は1口当たり。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定時に信託された資金は1口当たり1万円なので、設定日の基準価額は1万円と表示されていますが、募集手数料200円及び手数料にかかる消費税等相当額10円が控除されましたので設定日の運用資金は1口当たり9,790円です。

(注4) 基準価額の騰落額及び騰落率は分配金込み。

(注5) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

■当期中の基準価額等の推移

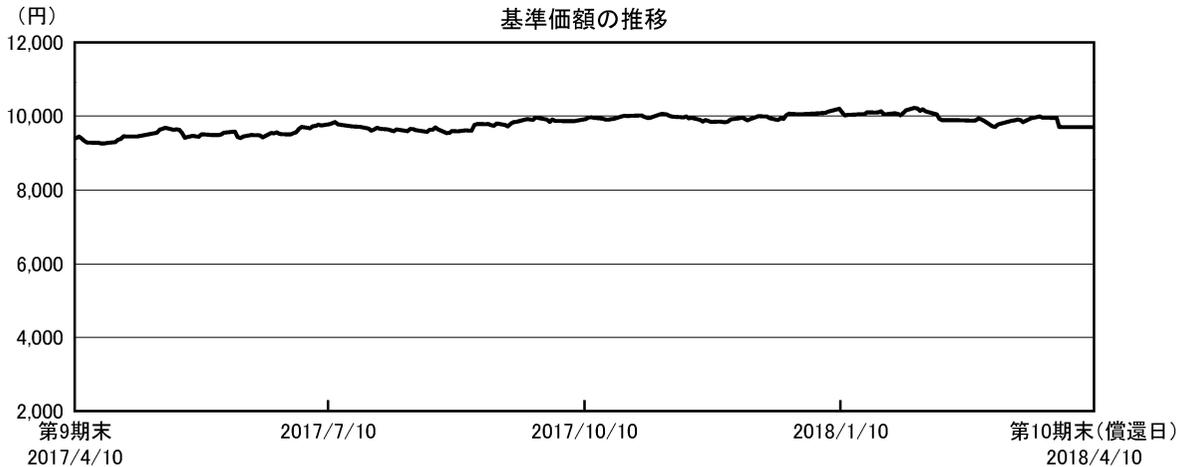
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 投 資 信 託 証 券 組 入 比 率 |
|------------------------|--------------------|-----|---------------------|
| | 騰落率 | 騰落率 | |
| (期 首) | 円 | % | % |
| 2017年 4月10日 | 9,405 | — | 99.8 |
| 4月末 | 9,451 | 0.5 | 99.8 |
| 5月末 | 9,487 | 0.9 | 99.8 |
| 6月末 | 9,707 | 3.2 | 99.8 |
| 7月末 | 9,637 | 2.5 | 99.9 |
| 8月末 | 9,758 | 3.8 | 99.7 |
| 9月末 | 9,866 | 4.9 | 99.8 |
| 10月末 | 9,977 | 6.1 | 99.9 |
| 11月末 | 9,851 | 4.7 | 99.7 |
| 12月末 | 10,055 | 6.9 | 99.5 |
| 2018年 1月末 | 10,017 | 6.5 | 99.6 |
| 2月末 | 9,932 | 5.6 | 99.7 |
| 3月末 | 9,704 | 3.2 | 0.4 |
| (償 還 時) 2018年 4月10日 | (償還価額) 9,699.89 | 3.1 | — |

(注1) 基準価額は1口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

■当期の運用経過 (2017年4月11日から2018年4月10日まで)



(注) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

1. 当期 (2017年4月11日～2018年4月10日)の基準価額等の推移について

当期の基準価額は294円89銭上昇し、償還価額は9,699円89銭となりました。当期の騰落率は3.1%の上昇となりました。

2. 当期中の基準価額の主な変動要因

当ファンドは、人民幣建て短期債券を投資対象とする外国投信「BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB (円建て) (ビー・エヌ・ピー・パリバ フレキシ―Ⅲ ショートターム ボンド ファンド RMB (円建て))」を高位に組み入れる運用を行ったため、人民幣の日本円に対する為替レートおよび人民幣建て債券市場の影響を受けました。当期中は、北朝鮮情勢をめぐる地政学リスクなどから元が対円で下落する局面もありましたが、中国の経済指標が概ね良好だったことなどを背景に元が対円で上昇し、通期で円安・元高となったことが基準価額の主な上昇要因となりました。

3. 投資環境について

設定来の投資環境 (2008年4月24日～2018年4月10日)

当ファンドの運用期間中、人民幣は日本円に対して上昇しました。

当ファンドが設定された2008年は、9月に米国のリーマン・ブラザーズが破綻したことによって金融危機が深刻化し、世界的にリスク回避の動きが広がりました。FRB (米連邦準備制度理事会) が積極的に金融緩和を実施したことなどから、為替市場では円高・ドル安が進行するとともに、元は対円で下落しました。2010年は米国のオバマ大統領やガイトナー財務長官が元の過小評価を指摘したことなどから、元が対ドルで上昇する局面もありましたが、ギリシャの財政問題や中国の金融引き締めに対する懸念などを背景に円高が進行し、元は対円で下落しました。2012年は中国の景気回復を示唆する経済指標が相次いだことなどから元が上昇し、年末に自民党・安倍政権が発足すると、アベノミクス政策のもと日銀が積極的な金融緩和を実施したことを受けて円安が加速し、元は対円で上昇しました。2014年は中国の良好な経済指標などを背景に元高傾向が続きましたが、2015年に入ると中国の景気減速懸念が広がり、中国人民銀行は2月から相次いで金融緩和を実施

しました。また、8月に中国人民銀行が元のドルに対する基準値を切り下げたことを受けて、元は対ドルおよび対円で下落しました。2016年は中国の景気減速に対する懸念や、英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱派が勝利したことなどを受けて、元が対円で下落する局面もありましたが、11月の米国大統領選挙でトランプ氏が当選し、新政権に対する政策期待が高まったことや、FRBの利上げ観測が高まったことなどから、円安・ドル高が進行するとともに、元は対円で上昇しました。2017年は米国トランプ政権の政策に対する不透明感や、北朝鮮情勢をめぐる地政学リスクへの警戒感などから、円高が進行する局面もありましたが、中国の経済指標が概ね良好だったことや、中国人民銀行がドルに対する基準値を元高方向へ設定したなどを受けて、元は対円で上昇しました。2018年に入ると、米国の利上げが加速するとの懸念から世界的に株安が波及してリスク回避の動きが広がったことや、トランプ政権の保護主義的な通商政策によって貿易戦争への懸念が高まったことなどを受けて、ドルが対円および対円で下落するなか、元は対円で小幅に下落しました。

当ファンドの運用期間中、人民元短期金利は低下しました。

2008年9月に米国のリーマン・ブラザーズが破綻したことによって金融危機が深刻化するなか、中国人民銀行は利下げを実施しました。また、世界の主要中央銀行と協調して10月に追加利下げを実施したことを受けて、元短期金利は低下しました。2010年は中国の不動産価格の上昇や好調な経済指標を受けてインフレ懸念が台頭し、中国人民銀行は利上げを実施しました。また、2011年3月にかけて中国人民銀行が預金準備率や貸出金利を相次いで引き上げ、金融引き締めを強化したことなどを背景に、元短期金利は上昇しました。その後は欧州債務危機が深刻化し、リスク回避の動きが広がったことなどから、元短期金利は年末にかけて低下しました。2013年は流動性逼迫への懸念や、中国人民銀行の金融引き締めに対する警戒感などを背景に、元短期金利は上昇しました。しかし、2015年は中国の景気減速への懸念が広がり、中国人民銀行は2月に預金準備率を引き上げた後、相次いで金融緩和を実施したため、元短期金利は低下しました。2016年は元安・ドル高が進行し、資本流出懸念が広がったことや、資金需要の高まりなどを背景に、元短期金利が上昇する局面がありました。2017年は中国当局による金融監督強化や金融引き締めに対する警戒が高まったことなどから、元短期金利が上昇しましたが、2018年に入り、中国人民銀行が春節の時期に臨時準備金引出制度を導入すると発表したことや、公開市場操作による資金供給などを受けて、元短期金利は低下しました。

4. ポートフォリオについて

当ファンドは、ルクセンブルク籍外国投信「BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB(円建て)」および「BNPパリバ日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)」を主要投資対象とし、外国投信を可能な限り高位に組入れる方針を維持しました。

BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB(円建て)

残存期間1年以内の人民元建て中国国債や短期金融商品へ投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指した運用を継続しました。

BNPパリバ日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)

コール・ローンなどで運用を行うことで、流動性の確保を図りました。

5. 分配金について

各決算日に収益分配方針に基づき、経費控除後の配当等収益や基準価額の水準等を勘案し、収益分配額を決定しました。信託期間の分配金累計額は、1口当たり700円(税引前)となりました。

6. 償還について

当ファンドは、2018年4月10日に信託期間が満了し、償還価額9,699円89銭で償還いたしました。当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。

■1口当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|-----------------------|---------|---|
| | (2017/4/11～2018/4/10) | | |
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 | % | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,786円です。 |
| (投 信 会 社) | (4) | (0.043) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (127) | (1.296) | 交付運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (4) | (0.043) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 3 | 0.030 | (b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.013) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷) | (2) | (0.016) | 運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用 |
| 合 計 | 138 | 1.412 | |

(注1) 期中において発生した費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注6) このファンドが組み入れている投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては、後掲組入ファンドの概要に表示することとしております。

■売買及び取引の状況 (2017年4月11日から2018年4月10日まで)

投資信託証券

| | | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|--|---|-----|------------|-----------|-------|
| | | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| 国 内 | BNPパリバ日本短期債券ファンド (適格機関投資家限定) | — | 千円 | 10,000,000 | 千円 | 9,950 |
| 外 国 | ルクセンブルク BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB(円建て) | — | — | 2,211 | 2,686,431 | |

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2017年4月11日から2018年4月10日まで）

当期中に利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入れ資産の明細（2018年4月10日現在）

償還日現在、有価証券の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年4月10日現在

| 項 目 | 償 還 時 | |
|-------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 2,344,864 | 100.0 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 2,344,864 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2018年4月10日)現在

| 項 目 | 償 還 時 |
|-------------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 2,344,864,816円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 2,344,864,816 |
| (B) 負 債 | 33,003,665 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 32,254,493 |
| 未 払 利 息 | 6,103 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 743,069 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 2,311,861,151 |
| 元 本 | 2,383,390,000 |
| 償 還 差 損 金 | △ 71,528,849 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 238,339口 |
| 1口当たり償還価額(C/D) | 9,699円89銭 |

(注1) 設 定 年 月 日 2008年4月24日
 設 定 元 本 額 35,739,790,000円
 期 首 元 本 額 2,745,830,000円
 元 本 残 存 率 6.6%
 1口当たり純資産額 9,699円

(注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は71,528,849円です。

■損益の状況

当期 自2017年4月11日 至2018年4月10日

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------------|--------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 107,898円 |
| 受 取 利 息 | 2 |
| 支 払 利 息 | △ 107,900 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 119,985,111 |
| 売 買 益 | 475,431,049 |
| 売 買 損 | △355,445,938 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 35,747,529 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A + B + C) | 84,129,684 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △163,485,419 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | 7,826,886 |
| 償 還 差 損 金 (D + E + F) | △ 71,528,849 |

(注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

- ・2017年6月30日付で、投資対象とする投資信託証券の運用会社の社名変更に伴う信託約款の変更を行いました。
- ・2017年12月1日付で、当社の商号及び公告先となるホームページURLの変更に伴う信託約款の変更を行いました。

■投資信託財産運用総括表

| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2008年4月24日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
|------------------------|-----------------|-----------------|------------------|--------------|----------------|
| | 投資信託契約終了日 | 2018年4月10日 | | 資産総額 | 2,344,864,816円 |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減または追加信託 | 負債総額 | 33,003,665円 |
| 受益権口数 | 3,573,979口 | 238,339口 | △ 3,335,640口 | 純資産総額 | 2,311,861,151円 |
| | | | | 受益権口数 | 238,339口 |
| 元本額 | 35,739,790,000円 | 2,383,390,000円 | △33,356,400,000円 | 1口当たり償還金 | 9,699.89円 |
| 毎計算期末の状況 | | | | | |
| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1口当たり分配金 | |
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第1期 | 25,644,060,000円 | 24,650,060,352円 | 9,612円 | 0円 | 0.0000% |
| 第2期 | 19,352,760,000 | 17,169,478,121 | 8,872 | 0 | 0.0000 |
| 第3期 | 15,386,530,000 | 12,843,340,576 | 8,347 | 0 | 0.0000 |
| 第4期 | 12,329,880,000 | 10,343,318,908 | 8,389 | 0 | 0.0000 |
| 第5期 | 9,901,510,000 | 10,063,302,108 | 10,163 | 0 | 0.0000 |
| 第6期 | 5,573,830,000 | 5,702,607,032 | 10,231 | 200 | 2.0000 |
| 第7期 | 4,109,510,000 | 4,724,204,463 | 11,496 | 500 | 5.0000 |
| 第8期 | 3,156,580,000 | 3,148,782,051 | 9,975 | 0 | 0.0000 |
| 第9期 | 2,745,830,000 | 2,582,344,581 | 9,405 | 0 | 0.0000 |
| 信託期間中1口当たり総収益金及び年平均収益率 | | | | 399.89円 | 0.4013% |

償還金のお知らせ

1口当たり償還金 9,699円89銭(税引前)

中国人民元建て短期債券投信
投資対象投資信託証券の運用状況

当ファンドの主要投資対象の投資信託証券の直近の運用状況につきまして、ご報告いたします。

(注) 2018年4月10日時点で入手し得る直近の状況を記載しております。

外国投資信託証券 BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB

| | |
|---------|--|
| 現地ファンド名 | BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMB (BNPパリバ フレキシースリー ショートターム ボンド ファンド RMB) |
| 形態／表示通貨 | ルクセンブルク籍外国投資法人／円建て |
| 運用の基本方針 | 人民元建ての中国国債のうち主に残存期間1年以内のものに投資し、収益性、安定性などを総合的に勘案して選別した債券に投資 |
| 主な投資対象 | 人民元建て中国国債 |
| 決算日 | 毎年12月末 |
| 信託報酬等 | ファンドの純資産総額に対して年率1.4%(税抜)程度。 尚、上記料率には運用報酬及び管理費用等が含まれます。 |
| 投資顧問会社 | BNP PARIBAS ASSET MANAGEMENT Asia Limited (BNPパリバ・アセットマネジメント・アジア・リミテッド) |
| 副投資顧問会社 | HFT Investment Management (HK) Limited (ハイフートン・インベストメント・マネジメント(ホンコン)リミテッド) |
| 投資助言会社 | HFT Investment Management Co., Ltd. (ハイフートン・インベストメント・マネジメント カンパニー・リミテッド) |

■BNP PARIBAS FLEXI III SHORT TERM BOND FUND RMBの資産状況

| 純資産計算書 | 2016年12月31日現在 (円) | 損益および純資産変動計算書 | 2016年12月31日に終了した会計年度 (円) |
|-------------|----------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 資産 | 2,794,008,354 | 投資収益 | 55,995,393 |
| 投資有価証券時価評価額 | 2,724,440,363 | 投資顧問報酬 | 26,741,156 |
| 銀行預金・定期預金 | 23,523,430 | 保管費用 | 2,519,494 |
| その他資産 | 46,044,561 | 銀行支払利息 | 165,178 |
| 負債 | 5,069,859 | その他費用 | 13,041,037 |
| その他負債 | 5,069,859 | 支払税 | 282,883 |
| 純資産額 | 2,788,938,495 | 取引手数料 | 1,644,541 |
| | | 管理費用 | 1,492,322 |
| | | 費用合計 | 45,886,611 |
| | | 投資純利益(純損失) | 10,108,782 |
| | | 投資有価証券に係る実現純利益(純損失) | (512,925,266) |
| | | 金融商品に係る実現純利益(純損失) | (20,414,956) |
| | | 当期実現純利益(純損失) | (523,231,440) |
| | | 投資有価証券に係る未実現評価純利益(純損失)の変動 | 193,172,824 |
| | | 当期未実現評価純利益(純損失)の変動 | (330,058,616) |
| | | 当会計年度中の純発行(買戻)額 | (515,026,000) |
| | | 当会計年度中の純資産額の純変動 | (845,084,616) |
| | | 期首純資産 | 3,634,023,111 |
| | | 期末純資産 | 2,788,938,495 |

投資有価証券明細表

2016年12月31日現在

| 種類 | 銘柄名 | クーポン | 通貨 | 額面(現地通貨) | 評価額 | 純資産比率 | 償還年月日 |
|----|----------------------------|------|-----|------------|---------------|-------|------------|
| 債券 | 【譲渡可能上場有価証券及び金融商品】 (中国) | | | | 円 | % | |
| | CHINA GOVT BOND | 2.14 | CNY | 25,000,000 | 420,342,131 | 15.07 | 2017/08/04 |
| | CHINA GOVT BOND | 2.22 | CNY | 40,000,000 | 673,895,200 | 24.16 | 2017/02/18 |
| | CHINA GOVT BOND | 2.30 | CNY | 10,000,000 | 168,456,953 | 6.04 | 2017/05/05 |
| | CHINA GOVT BOND | 2.32 | CNY | 5,000,000 | 84,270,595 | 3.02 | 2017/01/07 |
| | CHINA GOVT BOND | 2.60 | CNY | 41,686,000 | 702,299,883 | 25.19 | 2017/09/20 |
| | CHINA GOVT BOND | 3.66 | CNY | 40,000,000 | 675,175,601 | 24.21 | 2017/03/13 |
| | 合 | | 計 | | 2,724,440,363 | 97.69 | — |

BNPパリバ日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）

国内投資信託証券 BNPパリバ日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定)

| | |
|---------|--|
| ファンド名 | BNPパリバ日本短期債券ファンド(適格機関投資家限定) |
| 形態／商品分類 | 国内投資信託証券／追加型投信／国内／債券 |
| 運用の基本方針 | 円建ての公社債を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| 信託報酬 | ファンドの純資産総額に対して年率0.216%(税抜 0.20%)以内 |
| その他費用等 | 組入有価証券等の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 委託会社 | BNPパリバ・アセットマネジメント株式会社* |

*2017年12月1日付で、「BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社」から社名を変更いたしました。

■最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 債券組入比率 | 純資産総額 |
|-----------------|-------|------------|-----------|--------|-------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | | |
| | 円 | 円 | % | % | 百万円 |
| 6期(2014年3月10日) | 9,988 | 0 | △0.1 | 85.3 | 199 |
| 7期(2015年3月10日) | 9,976 | 0 | △0.1 | 76.8 | 390 |
| 8期(2016年3月10日) | 9,971 | 0 | △0.1 | — | 390 |
| 9期(2017年3月10日) | 9,961 | 0 | △0.1 | — | 180 |
| 10期(2018年3月12日) | 9,950 | 0 | △0.1 | — | 179 |

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

■当期中の基準価額等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 債 券 組入比率 |
|-------------|---------|------|-------------|
| | | 騰落率 | |
| (期 首) | 円 | % | % |
| 2017年 3月10日 | 9,961 | — | — |
| 3月末 | 9,960 | △0.0 | — |
| 4月末 | 9,960 | △0.0 | — |
| 5月末 | 9,959 | △0.0 | — |
| 6月末 | 9,958 | △0.0 | — |
| 7月末 | 9,957 | △0.0 | — |
| 8月末 | 9,956 | △0.1 | — |
| 9月末 | 9,955 | △0.1 | — |
| 10月末 | 9,954 | △0.1 | — |
| 11月末 | 9,953 | △0.1 | — |
| 12月末 | 9,953 | △0.1 | — |
| 2018年 1月末 | 9,952 | △0.1 | — |
| 2月末 | 9,951 | △0.1 | — |
| (期 末) | | | |
| 2018年 3月12日 | 9,950 | △0.1 | — |

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドの運用成果の評価基準となる適切な指数がないため、ベンチマーク及び参考指数はございません。

■1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-------------|-----------------------|---------|---|
| | (2017/3/11～2018/3/12) | | |
| | 金 額 | 比 率 | |
| | 円 | % | |
| (a) 信 託 報 酬 | 1 | 0.011 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,955円です。 |
| （投 信 会 社） | (1) | (0.009) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販 売 会 社） | (0) | (0.001) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンド の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （受 託 会 社） | (0) | (0.001) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 合 計 | 1 | 0.011 | |

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況（2017年3月11日から2018年3月12日まで）

当期は該当ありません。

■利害関係人との取引状況等（2017年3月11日から2018年3月12日まで）

当期中に利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入れ資産の明細(2018年3月12日現在)

有価証券の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年3月12日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 179,976 | 100.0 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 179,976 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

BNPパリバ日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年3月12日)現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|--------------|
| (A) 資 産 | 179,976,555円 |
| コール・ローン等 | 179,976,555 |
| (B) 負 債 | 19,929 |
| 未払信託報酬 | 19,461 |
| 未払利息 | 468 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 179,956,626 |
| 元 本 | 180,853,698 |
| 次期繰越損益金 | △ 897,072 |
| (D) 受益権総口数 | 180,853,698口 |
| 1万口当たり基準価額 (C/D) | 9,950円 |

- (注1) 期首元本額 180,853,698円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
 1口当たり純資産額 0.9950円
- (注2) 純資産総額が元本を下回っており、その差額は897,072円です。

■損益の状況

当期 自2017年3月11日 至2018年3月12日

| 項 目 | 当 期 |
|---------------------|------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △171,664円 |
| 支 払 利 息 | △171,664 |
| (B) 信 託 報 酬 等 | △ 19,461 |
| (C) 当期損益金 (A + B) | △191,125 |
| (D) 前期繰越損益金 | △576,740 |
| (E) 追加信託差損益金 | △129,207 |
| (配 当 等 相 当 額) | (347,372) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△476,579) |
| (F) 計 (C + D + E) | △897,072 |
| (G) 収 益 分 配 金 | 0 |
| 次期繰越損益金 (F + G) | △897,072 |
| 追加信託差損益金 | △129,207 |
| (配 当 等 相 当 額) | (347,372) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△476,579) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 210,555 |
| 繰 越 損 益 金 | △978,420 |

- (注1) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(347,372円)および分配準備積立金(210,555円)より分配対象収益は557,927円(10,000口当たり30円)ですが、当期に分配した金額はありません。